

# 特集

## 2023年6月21日 関東支部会報告

飯塚礼子（明星大学，日食情報センター）

### 1. はじめに

2022年度、3回目の関東支部会は Web 開催となった。前回は対面での支部会であったために徐々に直接お顔を拝見した方々もおられたが、休日ではなく平日の夜と言う開催オーダーもあり、画面越しの開催となった。

さらに、今回は会員・非会員の区別なく開催を行った。Web による開催は、アプリを使用するのでその分コストがかかる。会員皆様の会費から予算をいただいていた支部会運営であるために、私はいつも差別化を意識しているものの、「普及」と言う言葉には Web 開催での差別化が難しいと感じている。しかしながら、多くの人に天教の関東支部会を周知していただきたく、今回も無料で開催した。

### 2. 開催内容

今回は特別講演に赤外線天文学がご専門の津村耕司氏（東京都市大学 理工学部 自然科学科）をお迎えした。一般発表も 6 件あった。

◆開催日：2023年6月21日（水曜日）

21:00~23:00

◆開催場所：Web（Zoom）にて

◆参加人数：40人（申込者数）

### 3. プログラム

#### 3.1 特別講演

「宇宙最大の爆発現象ガンマ線バーストを観測する天文衛星の開発」 津村耕司

（東京都市大学 理工学部 自然科学科）

ガンマ線バーストを観測する科学衛星 HiZ-GUNDAM を、JAXA/ISAS 公募型小型科学衛星 5 号機候補として 2030 年頃の打ち上げを目指して開発を進めている。ここでは、

この衛星の現状や目指すサイエンスについて紹介していただいた。関東支部会特集として寄稿いただいているので、詳しくはそちらをご覧ください。さらに、支部会後の衛星の動向についても加筆していただいている。

#### 3.2 一般発表

(1)「近代の天文現象の予報が世間の評判をどれほど反映していたか？」を評価した。」

谷川政敏（川越天文同好会）

(2)「C/2023 A3 (Tsuchinshan-ATLAS) は本当に明るくなるの?」

鈴木文二（渋谷教育学園幕張中学高校）

(3)「水星の尾と M101 の超新星～都会で撮影～」

石川勝也（開成学園）

(4)「Mitaka 活用コンテストについて」

波田野聡美（JAXA/NAOJ）

(5)「PEACE BOAT での金環皆既日食観望会」

鷹 宏道（星槎大学）

(6)「生演奏とコラボした天文普及」

飯塚礼子（明星大学）

各内容については、関東支部会特集として寄稿をいただいているのでそちらをご覧ください。

#### 4. おわりに

今回の支部会は先に述べたように Web 開催とした。場所の制限は多くかからないが、参加者の顔が見られず寂しさもある。今後の支部会運営についてさらに模索しながら進めていきたいと考える。今回の発表者・参加者・運営スタッフにこの場をかりてお礼と感謝をを申し上げたい。